

公表:令和 6年 1月 25日

事業所名 放課後等デイサービス めくもり山荘

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			運営基準に基づいたスペースとなっています。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			運営基準に適した人員配置となっています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			エレベーター、段差のない通路、広々としたトイレを完備しています。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			支援会議には全職員が参加し、目標が適切であるか検討しています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			毎年、保護者アンケート表を配布し、貴重な意見等を把握し、業務改善に努めています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			当事業所のホームページ内に事業所向け自己評価の結果、保護者等からの事業所評価の結果を公表しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者による外部評価は行っておりません。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			社内研修3回の他に年8回程度、ヒヤリハット、虐待、感染症、応急処置についての勉強会を行っております。また、外部の児童発達連絡協議会の全大会の研修に参加しました。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			半年に一度、面談を行い、毎回、保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で計画書を作成しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			標準化されたアセスメントツールを使用して支援をしています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			毎週行う週間会議には職員が参加し、翌週の活動プログラムの内容を決めていきます。非常勤職員にはSNSや書面で確認をしてもらい、情報共有できるようにしています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			活動一覧表を使用しながら前週と活動内容を比較し、プログラムが固定化しないように工夫をしています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			平日、休日、長期休暇に応じて課題の幅を広げ、一人一人に合った課題の支援を行っています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			子どものニーズと課題に合わせて、人との正しい関わり方を支援したり、意図的にルールのある遊びを取り入れたり、学習能力の向上、手指機能能力の向上に向けて支援をする為の計画書を作成し支援しています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			週間会議で決めた活動内容や担当・役割を毎日のサービス開始前に会議やSNSで確認・打ち合わせを行っています。

	⑩⑥	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		支援終了後に毎回打ち合わせはしていませんが、必要時は随時、職員間で申し送りを行っています。また、毎朝の打ち合わせの時に前日の振り返りを行っています。
	⑩⑦	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか		○		サービス終了後、毎日の支援内容を適切に記録し、支援の検証・改善に努めています。
	⑩⑧	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか		○		定期的にモニタリングを行い、必要時は計画書の見直しを行っています。
	⑩⑨	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか		○		常にガイドラインの総則をいくつか組み合わせ、支援を行っています。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑩⑩	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		○		毎回、子どもの状況に精通した職員が参画しています。
	⑩⑪	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか		○		学校との情報共有・連絡調整は保護者からの情報を基に行っていますが、必要時は学校と直接連絡を取る事もあります。
	⑩⑫	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		受け入れ体制・連絡体制は整えていますが、現在、医療的ケアを必要とする利用者はありません。
	⑩⑬	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		該当する利用者がいる場合には保護者に情報共有できるか確認し、可能であれば情報共有会に参加したい事は伝えていきます。
	⑩⑭	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		利用者が障がい福祉サービス事業所へ移行する時、情報共有の為積極的に移行会議に参加したい事を保護者にその都度伝えていきます。
	⑩⑮	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		定期的に助言を受けています。
	⑩⑯	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			○	放課後児童クラブや児童館との交流はしていません。
	⑩⑰	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○	可能な限り参加しています。開催された場合は積極的に参加したいと考えています。
	⑩⑱	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか		○		送迎時やSNSを利用して家庭の様子を伺ったり、サービス中の様子を伝えていきます。気軽に話ができるように配慮し、共通理解を図っています。
⑩⑲	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	必要時、個別に行っています。保護者同士の勉強会は、行っていませんが、今後は開催を予定しております。	

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に丁寧な説明を心掛けており、分からない事、不安な事がある時は随時説明をしています。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			送迎時や連絡帳、計画書の更新時期に保護者の不安や悩みを聞き、相談に応じました。またその都度、必要な助言ができるよう配慮をしています。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		保護者会はありませんが、保護者同士の関わりができるように、ぬくもり山荘祭り・茶話会は開催致しました。今後も開催を予定しております。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情の窓口を用意しており、苦情があった場合は職員間で対応策を話し合い、苦情処理書類を作成し、体制を整備しています。また、保護者に迅速に説明・謝罪を行い、その後の対応について適切に説明しています。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月、ぬくもり山荘だよりを発行し、活動時の写真や連絡事項等を記載して子どもや保護者に発信しています。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報には十分配慮をしています。
	③⑯	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			子どもと保護者の気持ちに寄り添うように努め、必要な配慮をしています。また、必要な子どもにはコミュニケーションツールを活用し、意思疎通できるように支援を工夫しています。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		ぬくもり山荘祭りは開催しましたが、地域住民は招待しておりません。今後は、感染状況を踏まえ、前向きに検討致します。
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			各種マニュアルは策定しており、定期的に職員間で確認しています。また、全職員が閲覧しやすいようにスタッフルームに常備されています。また、災害発生時の対応について連絡帳に記載し、周知徹底できるように配慮しています。
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年2回の避難訓練、年1回の応急処置の訓練を行いました。
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			年1回、虐待防止の研修を行いました。また、年3回虐待に繋がる事例検討会を行っています。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			保護者に説明・了承を得た上で、放課後等デイサービス計画書に、車いす乗車時の安全ベルトを着用する事と、自傷他傷行為が見られた時にやむを得ず身体拘束をする場合がある事等に付いて記載しています。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		保護者からの聞き取りを十分に行い、食物アレルギーの子どもに対応しています。現在、医師からの指示書が必要なお子さんはいません。
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			年3～4回全職員でヒヤリハット事例検討会を行い、事業所内で共有しています。

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。